

3月18日

## 吉野製材工業協同組合から町へ寄附

▶中西理事長(左)と中井町長(右)



吉野町政推進や木材産業をはじめとする地場産業振興のため、吉野製材工業協同組合から寄付金150万円が、中井町長に直接届けられました。寄附金を受けとった町長は、「木のまち吉野としての事業の推進や木材関連産業PRのため、有効的に使わせていただきます。」と感謝の言葉を述べました。

◆寄附者 吉野町大字丹治11番地  
吉野製材工業協同組合 理事長 中西利彦  
閩政策戦略課 TEL(32)3081

くになか ひろかず

## 國中 広和 氏 消防庁長官表彰 永年勤続功労章



國中 広和 氏

永年にわたり、消防の使命達成に尽力した功績を挙げられたことから、國中広和氏(上市・58歳)に消防庁長官から永年勤続功労章が贈られました。國中氏は、昭和62年に吉野町消防団に入団し、平成20年に副分団長、平成22年から3年間、分団長を歴任。若い団員を率いて労力を惜しまず職務にまい進し、消防人としての使命責任を全うし、消防団の発展に尽力した功績を認められ、この度の受章となりました。國中氏は、「地域の皆様に支えられ、また良き先輩方や仲間たちに恵まれて、現在まで消防団員として活動することができ、感謝申し上げます。これからも地域の皆様方に少しでも安心感を与えることのできる団員であるよう心がけていきたいと思っております。」と語られました。

## 退任のご挨拶



森本 弥寿則  
前教育長

平成28年5月に教育長に就任し、この3月31日をもって教育長を退任させていただきました。この6年間、多くの皆様からご指導ご支援を賜りましたこと心からお礼申し上げます。

この間、吉野町の教育理念である「ふるさと吉野への郷土愛、愛着心あふれる人づくり」をめざして参りました。

手漉き和紙の卒業証書づくり、桜を通した学習、「木とふれあい、木に学び、木と生きる」をテーマとした木育等吉野町だからできる探究的学習を地域の皆様とともに創造できましたことは、この上ない喜びです。また、急速に変化する社会に対応できる子どもの育成を図るため、保護者の皆様はじめ町民の皆様と小中一貫教育について話し合い、施設一体型の小中一貫教育校「吉野さくら学園」を開校いたしました。本町教育の新たな門出を迎え期待に胸膨らませています。今後も応援していきたいと考えています。

終わりに、教育のまち吉野町の更なる発展を祈念し、退任のご挨拶とさせていただきます。

### 令和4年度 吉野町消防団幹部名簿

令和4年4月10日現在  
—敬称略—

分団名	管轄区域	階級	氏名
本 部		団 長	里田 徳幸
	上市地区	副団長	上西 弘祐
	吉野地区	副団長	西本 延博
	中荘地区	副団長	松田 正昭
	国栖地区	副団長	山口 貴典
	中竜門地区	副団長	西本 眞範
龍門地区	副団長	下中 隆平	
上 市	第1分団	上ノ町・横町・本町	分団長 北村 豊彦
	第2分団	尾仁山・六軒町	分団長 南 達人
	第3分団	立野・轟	分団長 小川 博史
吉 野	第1分団	吉野山	分団長 山本 智康
	第2分団	丹治	分団長 武林 久司
	第3分団	左曾	分団長 中西 毅
	第4分団	貯木	分団長 石橋 輝一
	第5分団	六田	分団長 南 勇輔
	第6分団	飯貝	分団長 香束 佳孝
中 荘	第1分団	中荘全域	分団長 大石 一也
国 栖	第1分団	南国栖・国栖・新子	分団長 森下 元気
	第2分団	窪垣内・南大野・入野	分団長 池田 慎
中 竜 門	第1分団	柳	分団長 藤裏 昌孝
	第2分団	香束	分団長 岩本 好彦
	第3分団	三茶屋・色生・小名	分団長 井上 司
龍 門	第1分団	山口・平尾・津風呂・西谷・三津	分団長 川端 康弘
	第2分団	志賀・滝畑・千股・佐々羅西・峰寺・河原屋	分団長 向坊 良典
	第3分団	佐々羅東	分団長 坂本 大輔



Environmental Conservation

環境保全に向けて

## 環境大臣政務官 吉野山視察

環境配慮型観光スタイル構築に向けて



吉野山のまちなかを視察する穂坂政務官(右)と中井町長(左)



◀金峯山寺五條管長から(右端)から話を聞く  
穂坂政務官(右から2人目)

4月9日、吉野山の環境対策への取り組みなどの視察のため、穂坂泰環境大臣政務官が来町しました。上市の環境省吉野管理官事務所で、中井吉野町長との懇談や、昨年実施した吉野山でのEVバス(電気自動車の周遊バス)実証実験の説明などが行われた後、吉野山を視察しました。先進的な取組であるこの実証実験は、脱炭素化に取り組む環境省と、交通渋滞などの観光課題解決をめざす吉野町の共同で行われたもので、政務官自らが地域関係者の意見を聞くことにより、今後の施策に反映されます。

## 記帳台システムを紹介します

マイナンバー  
カードや運転免許証  
があれば  
窓口の手続きが  
簡単に

申請書作成に係る手続きの負担を減らすために、**マイナンバーカードや運転免許証情報を利用して**申請書を作成する機器(記帳台システム)を役場1階窓口と健やか一番館3階長寿福祉課窓口に設置しています。住所や氏名等が記載された申請書が自動で作成でき、手書きの手間がかかりません。**証明書発行等の手続きの際にぜひご利用ください。**  
(マイナンバーカードに関する臨時窓口は裏表紙参照)

タッチパネルでの操作なので簡単に手続きできます。分からなければ職員がお手伝いしますので、ご安心ください。スペイン語にも対応しています。

操作方法の  
動画はこちら  
から➡



町民税務課 松本主任



# 国栖の杜 植樹イベント

国栖の杜では「一から始める森づくり」をテーマに、昨年からのイベント形式で植樹活動を行っています。3月6日には国栖地区自治協議会の主催により、国栖の杜での植樹イベントが行われ、41本の広葉樹が植えられました。

この日は、地元の方をはじめ、一般申込の方や近畿大学の学生さんなど、町内外から30名を超える参加者が集まりました。

参加者はグループに分かれ、プロの庭師の方々から指導を受けながら作業を進めました。植穴には炭や小枝、落ち葉などが層になるよう敷くことで、わずかな隙間ができ、木々が呼吸出来るような土中環境を整備しました。また、



多様な木々を寄せて植えることで、競い合わせ、共生できるように角度なども調整しながら植えていきました。参加者からは、「こんな植え方もあるんだね」「木が呼吸できるようにフカフカにしてあげよう」と話しながら作業を進めました。

植樹後、それぞれの樹種を記したプレートを取り付けました。



当日、午後から約50㎡分の芝生張りを行い、この日の一連の作業を終えました。



樹種	数量
コナラ	8
ヤマザクラ	2
ヤマボウシ	2
モミジ	2
シイ	1
ハクウンボク	2
ヤマコウバシ	2
クロモジ	2

## 寄贈された樹種と数量

この日植栽した41本の樹木のうち、21本は公益財団法人 三菱UFJ環境財団が実施する苗木寄贈事業による寄贈を受けて実施したものです。